

1. 事業の位置付け

事務事業名	事業系ごみ多量排出者に対する減量化指導事業		
事業担当	環境部 資源循環課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	03	③〈循環型社会〉 循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	事業者	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働: <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
事業系ごみ多量排出者に対する減量化指導を行うことにより、ごみ発生量が減少して資源化量、リサイクル量が増えています。		ごみ減量化のため、事業系ごみ多量排出者に対し、発生量の抑制、資源化、リサイクルなどの減量化の指導を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	多量排出事業者指導件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			75	70	65			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	多量排出事業者排出量削減率						単位	%
	説明・算定式	前年度実績と比較した削減率							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			2	2	2			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①: 予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
多量排出者に「減量化等計画書」等の確実な提出をを求め、実績及び計画書の分析等を行った。「減量化等計画書」等の確実な提出により、多量排出者に対し、ごみの発生抑制、資源化への意識付けに効果があった。									
平成19年度の検証結果	A: 成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、ごみの発生抑制、資源化に必要である。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続的に多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、ごみの発生抑制、資源化に有効である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、事業の目的であるごみの発生抑制、資源化に対して妥当である。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	多量排出者に対し、「減量化等計画書」等の確実な提出を求めている。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		多量排出者に対し「減量化等計画書」等の確実な提出をを求めるとともに、実践例を紹介し、排出抑制、資源化、リサイクル化などで減量化を促す。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				多量排出者に対する指導	多量排出者に対する指導	多量排出者に対する指導		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,679	1,679	1,679	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,679	1,679	1,679	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 多量排出者に「減量化等計画書」等の確実な提出を求める。実践例を紹介し、排出抑制、資源化、リサイクル化などで減量化を促す。	
平成21年度の実行方針	
提出書類の分析等を行い、実践例を紹介し排出抑制、資源化、リサイクル化の指導、助言を行う。	
課長コメント	家庭ごみと同様に、事業系ごみについても減量化が重要であり、特に多量排出者に対しては、排出抑制、資源化、リサイクル化の指導を徹底していく。